

# News Release

2014年6月5日

## 報道資料

～ITS Japanが大規模災害時に行う『乗用車・トラック通行実績情報』の集約・配信活動に参画～  
**パイオニアのプローブ情報※を災害時活用向けに提供**

パイオニアは、2006年に、プローブ情報を活用した独自のネットワークシステム『スマートループ』を立ち上げ、業界に先駆けて車載機を情報端末として活用したサービスを展開しています。

この度、当社は、特定非営利活動法人ITS Japan(東京都港区、会長 渡邊浩之)が大規模災害時に社会貢献活動として行う『乗用車・トラック通行実績情報』の集約・配信活動に参画し、当社の持つプローブ情報を災害時の活用のために提供することを決定しました。

※プローブ交通情報とも呼ばれ、自動車が行った位置や車速などの情報を用いて生成された道路交通情報のこと。一台一台の自動車をセンサーとして活用することで、リアルタイムに精度の高い膨大な量の情報を収集することが可能。

### 【『乗用車・トラック通行実績情報』の集約・配信活動の概要】

#### ■活動の背景

東日本大震災後に民間企業・団体が連携して提供した通行実績情報は、被災地周辺の道路の通行実績状況の把握、救援活動、物資輸送における経路検討などにおいて、その有用性が高く評価され、府省庁・地方自治体・指定公共機関(通信キャリアなど)からのニーズも非常に高いことが分かりました。これを受け、今後も大きな災害時には、民間企業・団体からの情報提供を行うべきであるという考えから、ITS Japanが社会貢献活動として情報を集約・提供することを決定しました。

#### ■活動への参画企業・団体

本田技研工業(株)、パイオニア(株)、トヨタ自動車(株)、日産自動車(株)、富士通(株)、いすゞ自動車(株)、ボルボグループ(UDトラックス(株))、日野自動車(株) 順不同

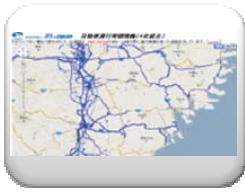
※情報の集約・配信に関する定義・仕組みについては、ITS JapanのHP(<http://www.its-jp.org/>)をご確認ください。

### 【パイオニアのプローブ関連事業・活用事例】

#### ■独自の情報ネットワークシステム『スマートループ』

当社独自の情報ネットワークシステム『スマートループ』は、通信機能を搭載したカーナビゲーション経由で専用サーバーに集積したプローブ情報(自動車の走行履歴や各種のセンサーデータなど)を、独自に解析し、配信する仕組みです。ネットワークを通じてリアルタイムに情報を共有することが可能になります。当社は、業界に先駆けてプローブ情報の集積・解析に取り組んでおり、さまざまな用途で活用しています。

## ■プローブデータの活用事例



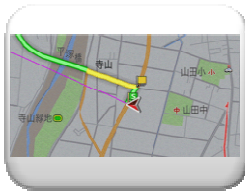
### ■災害時活用『通れた道マップ』

被災地からの走行情報を収集し、「通れた道マップ(ITS Japan)」や「通れた道路」の情報提供による支援活動を行いました。



### ■道路状況解析の高精度化 『レーン別車両認識』

車載カメラの画像データ解析によるレーン別の車両認識など、詳細で付加価値の高い交通情報の提供に取り組んでいます。



### ■地図・コンテンツ整備 『新規開通道路の抽出』

走行実績データから、新規に開通した道路を抽出したり、駐車場の入口情報を追加するなど、地図整備に活用しています。



### ■使いやすさ向上『検索精度向上』

音声認識や検索結果の精度向上など、カーナビの使いやすさ向上のために、各種の操作履歴を活用しています。



### ■事故時活用 『事故・災害内容の把握』

車載カメラの画像データを解析することにより、事故や災害内容の把握・情報の提供が可能になります。



### ■道路交通利用『経路・交通流解析』

膨大な走行情報をデータ化することにより、経路や交通流などの道路交通情報の分析が可能になります。



### ■観光利用『観光解析』

走行情報や地点情報などを解析することにより、観光地での回遊行動の分析などが可能になります。



### ■リスク軽減『危険箇所の抽出』

車載カメラの画像データを解析することにより、道路の冠水などの、危険箇所の抽出・情報提供が可能になります。

今後も当社は、『スマートループ』により蓄積してきた情報を、ドライバーだけでなく社会全体に向けて価値の高い情報として提供するため、膨大なデータを構造化し、活用するための取り組みを進めていきます。